



## この人だ〜れだ??

さて、いきなりですが問題です。左の写真の人物は誰でしょうか?次から選んでください(笑)。

- ① 安西先生(漫画スラムダンクの登場人物)
- ② 岡田先生のおじいちゃん
- ③ ケンタッキーフライドチキンの人

正解は・・・、③です!

そう、ケンタッキーフライドチキンの創設者であるカーネル・サンダースです。今回はみんなにも馴染みのある、カーネル・サンダースの話をしたと思います。

昨年12月のクリスマス前、1組教室でこんな話をしました。

岡田T:「クリスマスに食べるチキンはどこのチキンを買う?」

生徒K:「やっぱりケンタッキー!」

生徒R:「ケンタッキーは予約しないと買えないんやで!」

岡田T:「えー、そうなん!」※クリスマスは予約しないと買えないことを初めて知った・・・

という、たわいもないやり取りの中、先生の頭の中で以前読んだ本の中に、カーネル・サンダースの話題が書いてあったのを思い出しました。そこで、(この話は生徒は知らないだろうとほくそ笑みながら・・・)

岡田T:「ケンタッキーの店舗の前にあるカーネルの銅像はどうしておじいさんだと思う?」

生徒K:「ケンタッキーができたのが、カーネルが年老いてからだったから!」

と、あっという間に答えが出てしまいました(苦笑)。

みなさんは知っていましたか?先生は本を読むまで全く知りませんでした。それでは、先生が読んだ本に掲載されている文章を引用します。

彼は、30代半ばで始めたガソリンスタンドの経営に失敗。

新しく始めたレストランの経営がやっと軌道に乗ったところ、一緒に働いていた息子を亡くし、さらにレストランが火事に。

その後、独自のスパイスと調理法でつくる料理を考え出し、経営を立て直すのが、お店の近くに建設された高速道路で、車の流れが激減。

ついに彼はレストランを手放すことになる。

彼の手元に残ったのは1台の車だけ。

ただ、そんなどん底の中でも、自分が開発したスパイスと調理法を教えるフランチャイズ・ビジネス(=自分で思いついた仕事のノウハウを、他の人にも同じノウハウで仕事をさせ、利益を得る、ビジネスのひとつの形態)の原型となる事業を思いつく。

そのとき、彼の年齢は65歳。

車で生活しながら全米をまわり、売り込みを続ける。

その結果、最初に契約をもらったのは1010人目だった。

彼のつくったフランチャイズ・ビジネス「ケンタッキー・フライドチキン」は、現在、世界80ヶ国に1万店舗以上展開している。

その人の名は、カーネル・サンダース。

不屈の精神、燃える情熱は大成功を収めた。



是久昌信『情熱思考〜夢をかなえた45人の物語〜』より抜粋

## 夢を見つけるのに早い遅いはない

カーネル・サンダースは、65歳で「ケンタッキーフライドチキン」を軌道に乗せ、成功を収めたのです。しかも、車で生活しながら売り込みを続けて、契約をもらったのは1010人目だったといえます。不屈の精神を持った人だったと推測することができます。

「夢をかなえるには定年はない」「あきらめなければ夢はかなう」ということを教えていただけような気がします。

## 中学生の君たちへ

進路学習も本格的になってきました。自分の将来や自分がやりたいことを考えていますね。そこで、カーネル・サンダースの生き方から中学生である君たちにアドバイスできることは・・・、

①今、夢ややりたいことを持っていないなくてもよい。目標がなく落ち込む必要はない!

⇒しかし、カーネル・サンダースのように、いつ夢ややりたいことが見つかって大丈夫にしておくことが大切。中学生の時期はしっかり学習し、自分の将来のために準備しておく。

②夢ややりたいことが見つかったら、実現するまで行動し続ける!

⇒「あきらめたら、そこで試合終了ですよ・・・?」by安西先生(笑)

以上です。もしよかったら、心に留めておいてください。

さあ、2015年、飛躍の年にしましょう!!

カーネルに似てるでしょ?→

